



展示案内「下水道の仕事」

このパンフレットは館内の展示物と関連付けながら、主に「下水道の仕事」について紹介しています。下水道は私たちの生活の中で、普段あまり目にする機会はありませんが、社会を支えている重要なインフラです。そこで働く人たちが、どんな仕事をしているのかを知っていただくことで、下水道に関心を持ち理解を深めていただく一助になればと作成しました。廃棄物処理、自然災害から人々を守る活動、環境などを取り上げる授業の参考資料として、また、東京都虹の下水道館の館内情報としてご利用いただければ幸いです。

〈東京都虹の下水道館で学習できること〉

当館では、小学校第4学年・学習指導要領社会科などに関連して、以下の事項について、見学及び学習することができます。

- 下水道のしくみと役割
- 自分たちが使った水が、どのように処理・再生されるのか
- 下水道施設が水害（浸水）から、どのように私たちの暮らしを守っているか
- 下水道の仕事、仕事に携わる人々の思いや工夫
- 水環境のかけがえのなさを理解し、水環境にやさしい行動をとることの大切さ

東京都虹の下水道館

東京都虹の下水道館は、お台場有明地区にある東京都下水道局の広報施設です。

普段入ることのできない下水道管やポンプ所、水再生センターを再現したレインボータウン“見える下水道のまち”を舞台に、下水道の役割や水環境の大切さを楽しみながら学べる体験型施設です。



利用案内

- ・開館時間 9:30～16:30(入館は16:00まで)
 - ・休館日 月曜日(月曜日が祝休日の場合は開館し、その翌日が休館日)、年末年始
*夏休み期間については、無休となります
*下水道の日(9月10日)、都民の日(10月1日)は開館します
 - ・入館料 無料
 - ・所在地 〒135-0063 東京都江東区有明2-3-5 有明水再生センター5階
 - ・TEL/FAX 03-5564-2458
 - ・メールアドレス info@nijinogesuidoukan.jp
- ※開館時間や休館日が変更となる場合があります。
最新の状況は、当館公式ホームページやSNSをご確認ください。



- ・東京臨海新交通臨海線(ゆりかもめ)「お台場海浜公園駅」下車 徒歩8分
- ・東京臨海高速鉄道りんかい線「国際展示場駅」下車 徒歩12分

東京都虹の下水道館ホームページのご紹介

<https://www.nijinogesuidoukan.jp/>

トップページには、虹の下水道館の最新情報を掲載しています。また、一般来館者向け及び学校関係者(団体)向けの情報もご紹介。展示物を使用した下水道局職員の仕事を体験できるプログラムの詳細も掲載しています。見学をご検討中の場合やご来館の際はご覧ください。



公式 Instagram @nijinogesuidoukan

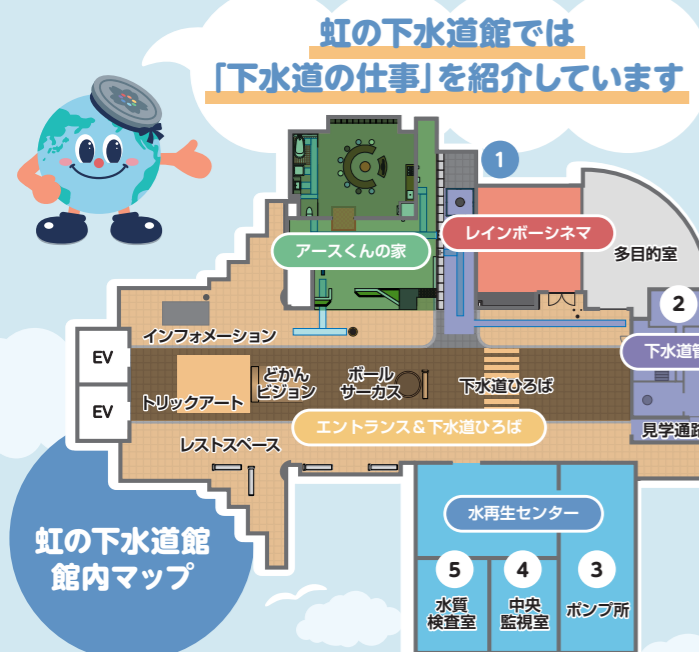
東京都内の水再生センター施設見学について

東京都内の一部の水再生センターでは、施設見学を受け付けています。見学をご希望の方は、下記見学受付窓口からご予約ください。

東京都内水再生センター見学対象施設一覧

23区			多摩地域		
施設名	住所	見学受付窓口	施設名	住所	見学受付窓口
芝浦水再生センター	港区港南 1-2-28	0120-897-142 予約の詳細は、東京都下水道局ホームページよりご確認ください。 	北多摩一水再生センター	府中市小柳町 6-6	042-365-4302 (北多摩一水再生センター)
三河島水再生センター	荒川区荒川 8-25-1		南多摩水再生センター	稲城市大丸 1492	
砂町水再生センター	江東区新砂 3-9-1		北多摩二水再生センター	国立市泉 1-24-32	042-572-7711 (北多摩二水再生センター)
有明水再生センター	江東区有明 2-3-5		浅川水再生センター	日野市石田 1-236	
落合水再生センター	新宿区上落合 1-2-40		多摩川上流水再生センター	昭島市宮沢町 3-15-1	042-545-4120 (多摩川上流水再生センター)
森ヶ崎水再生センター	大田区大森南 5-2-25		八王子水再生センター	八王子市小宮町 501	
			清瀬水再生センター	清瀬市下宿 3-1375	042-494-1451

※受付時間 9:00～17:00 (平日のみ)



土木職員の仕事

下水道管を守る

下水道管に異常がないかを日ごろからマンホールにもぐって調査、清掃を行うなど、施設の維持管理をしています。下水道管の中に泥やごみ、油などがたまると、下水の流れが悪くなったりあふれたりする原因になります。下水が水再生センターまで流れるように点検や掃除をし、普段から管内をきれいにする必要があります。



下水道管をつくる

下水道管などの工事の設計・計画、その工事現場を監督する業務があります。下水道管は道路を掘って管を埋めたり、地下にトンネルを掘って中で管を組み立てたりしてつくりまします。また、古くなった下水道管をつくり直す工事もしています。



東京都区部には、下水道管が約 16,000 km (東京～シドニー間を往復する距離) 敷設され、マンホールが約 48 万個設置されています。

虹の下水道館・関連展示紹介

- 人が入れない細い下水道管の内部を掃除する高压洗浄機を展示。テレビカメラを入れて確認し、汚れなどを高压の水を吹きつけて取りのぞく。
- 下水道管再構築工事現場と老朽化した実物大下水道管を再現して展示。実際に下水道管の再構築工事に使用する実機も見ることができる。
*古くなった管の内側に帯状の材料を巻きつけて新しい管をつくる機械。下水道管を使用しながら工事ができる。



下水道のしくみ

下水道は、主に3つの施設でできています。「下水を集めて流す下水道管」「下水道管が深くなりすぎないように途中で下水をくみ上げるポンプ所」「下水を処理してきれいな水によみがえらせる水再生センター」です。どの施設も正しく働くように日々点検、清掃、補修などを行っています。

汚れた水のゆくえ

わたしたちの家や学校から流れ出る汚れた水や雨水を下水といいます。家や庭の下には、汚れた水や雨水を流す管(排水管)が埋められています。排水管は、道路の下にある下水道管につながっています。下水道管には傾きがつけられていて、自然に水が流れるしくみになっています。下水道管が、ある程度の深さに

機械・電気職員の仕事

機械、電気設備の点検、修理

水再生センターやポンプ所には、大きな機械や様々な電気設備が設置されています。これらたくさんある機械や電気設備がいつでも正常に動くように点検や修理をしています。異常がないか判断するには長年培ってきた経験や音などに敏感に反応できる感覚がとても重要になります。



水再生センターにある中央監視室

水再生センターやポンプ所で水処理がうまくいっているか、正しく機械が運転されているかなど、中央監視室でモニターを見ながら監視、操作をしています。ここで働く人たちはチームを組んで、24時間365日、交替しながら働いています。また、ポンプ所の水位を常に監視し、大雨が降っても街が浸水しないようコントロールしています。その時の天候に応じた操作が必要になるため、とても高度な技術が必要です。



市内には、水をきれいにする水再生センターが20か所、汚水や雨水をくみ上げるポンプ所が86か所あります。(令和2年現在)

虹の下水道館・関連展示紹介

- ポンプ所の主要設備であるポンプの電動機、冷却用配管などを実物の約3分の1スケールにして展示。電動機操作盤で点検操作を行える。
- 中央監視室の重要な役割であるポンプ所の監視、運転のための設備を再現し展示。天気図(東京アメッシュ)を見ながらポンプをコントロールして大雨から街を守るシミュレーションができる。



環境検査職員の仕事

水質の管理

都内に20か所ある水再生センターでは、家や街から流れてきた汚れた水を、微生物の力で(下水の汚れを食べるなど)きれいに川や海へ還しています。水再生センターに流れてくる水、処理過程の水、放流水などさまざまな過程で異常がないか日々水質をチェックして

います。また、微生物が元気に働けるように空気を送る量などをコントロールしたり、微生物の調子が良くない時には、原因を探るために調査や実験もしています。環境検査職員は、こうして処理された水が流れ込む、川や海などの自然環境も守っています。



水質の規制

工場などが「下水道の施設や下水をきれいにしてくれる微生物に悪い影響を与えるものを下水に流さない」という決まりをきちんと守っているかを検査、指導しています。下水道に悪いものが流れ込むのを防ぐことで、下水道管、ポンプ所、水再生センターなどの下水道施設や、汚れた水を処理してくれる微生物がちゃんと働けるように守っています。



虹の下水道館・関連展示紹介

- 下水がきれいに処理されているか検査する水質検査室を再現し展示。顕微鏡を設置し、微生物の観察ができる。

